

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

黙祷 イザヤ 50:4	……………	御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美	……………	180番
*交読文	……………	44番
*使徒信条	……………	会衆一同
*頌栄	……………	174番
礼拝のための祈り	……………	1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
賛美	……………	173番
聖餐式	……………	281番
メッセージ	……………	主に召し出されても、何をして良いのか分からない時(ヨハネ 21:1-8)
御言葉を適用する祈り	……………	会衆一同
賛美	……………	179番
献金感謝の祈り	……………	パスター
報告と歓迎	……………	
*主の祈り	……………	会衆一同
*祝祷	……………	パスター

祈禱課題

- ・この教会が天の声、すなわち御言葉なるキリストに聞き従い、御心を行う教会であるように
- ・兄弟姉妹達が御言葉をたくわえ、昼も夜も口ずさみ、出るにも入るにも祝福されるように
- ・聖霊に満たされ、弟子の舌が与えられ、大胆にキリストを伝えられるように
- ・主を愛し、御言葉に忠実な、御霊に満ちた働き人、70名が与えられるように
- ・病、貧しさ、悲しみ、捕われの内にある兄弟姉妹のいやし、慰め、解放のために
- ・終末の災い(戦争、地震、飢饉など)に実際に直面している世界の兄弟姉妹達のために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

よくよく\_\_\_に言うておく。わたしを信じる\_\_\_は、またわたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。わたしの名によって願うことは、なんでもかなえてあげよう。父が子によって栄光をお受けになるためである。何事でもわたしの名によって願うならば、わたしはそれをかなえてあげよう。もし\_\_\_がわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでも\_\_\_と共におらせて下さるであろう。それは真理の御霊である。・・・わたしは\_\_\_を捨てて孤児とはしない。\_\_\_のところへ帰って来る。(ヨハネ 14:12-18)

復活祭の後、およそ7週間後の聖霊降誕日までの間を、教会の暦は「復活祭期」「主の復活の第\*週」と呼んでいるが、この期間、私達は聖霊に満たされる事を祈り求める時としたい。弟子達は、いつ、聖霊を受けたか。それは実は、ペンテコステの日ではなく、イエス様の復活の日である。『イエスはもう一度、彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします。」そして、こう言われると、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』(20:21-22) イエス様はこの時、「あなた方を遣わす」と言われ、そして、息を吹きかけた。聖霊を受ける理由は、「遣わされるため」である。私達はイエス様の御元で座って聞き入って居たいかもしれない。しかしそこを立って、世へと出て行き、イエス様を伝える者となるべきだ。世に働きは多いからだ。しかし弟子達は、復活の主からせつかく聖霊の息吹を吹きかけられても、以前と全く変わっていなかった。

『シモン・ペテロは彼らに「わたしは漁に行くのだ」と言うと、彼らは「私達も一緒に行こう」と言った。」(3節)シモンがここで言った「行く(フパゴー)」には、「徐々に退いて離れて行く、去って行く」の意味がある。つまり彼らは、せつかくイエス様から「遣わされる」ために聖霊の息吹を吹きかけられたのに、弟子としての働きは徐々に退き、元々していた漁へ戻って行こう、と表明したのだ。私達もそういう所があるかもしれない。イエス様を信じ、イエス様から「あなたを遣わします」と、聖霊の息を吹きかけられたのに、特に変わり映えが無く、むしろ今までいつも目の前で先頭に立ってリードしてくれていた指導者や、牧師がいなくなったら何も出来ず、何も思い浮かばず、手をこまねいて、以前の状態に戻ろうとしてしまうのは、ありがちである。しかし私達は既に、イエス様を主と告白する事によって、聖霊の息吹は受けている。(1コリント 12:3) 世から引き抜かれ、神の国の者とされている。というのに、今まで頼りにして来たものが目の前からいなくなってしまって、何が出来るだろう、と思う働き人は多い。しかし主を信じて行くなら、大きな働きをするのだ。『よくよくあなたがたに言うておく。わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。』(14:12)

実際、弟子達はペンテコステ以降、イエス様のわざをなし、とても偉大なわざをして行った。そこに至るまでは、まだ、色々なステップを踏んでいかななくてはならなかったが。

弟子達は、その夜、何も獲れなかった。ひと度、主から聖霊を息吹かれ、任職を受けたなら、以前していた世の事どもに戻ろうとしても、何も獲れないし、また、世に留まり続けてもひたすら虚しく、何の实りも無いのだ。その時、イエス様は岸边に立たれたのに、弟子達には、それがイエス様だとは分からなかった。『イエスは彼らに言われた、「子たちよ、何か食べるものがあるか」。彼らは「ありません」と答えた。』(21:5) イエス様は、分からないから聞いたのではない。任職と聖霊を受けたのだから、人間をとる漁師に出るべきはずなのに、今までの世の魚を取ろうとするのだから、収穫が虚しいのは当然だろう、と確認したのだ。『すると、イエスは彼らに言われた、「舟の右の方に網をおろして見なさい。そうすれば、何かとれるだろう」。彼らは網をおろすと、魚が多くとれたので、それを引き上げることができなかった。』(21:6) イエス様の御旨でない所に闇雲に網を投げても、ひたすら虚しいのだ。伝道であれ、奉仕であれ、御旨でない所に「ここだ」と思って投げても、同じく虚しいのである。しかし、イエス様の御声に従順し、彼が指示される所に網を降ろすなら、人の能力や経験を遥かに超えた、何日分もの養いを得る事が出来る。そして、それをして下さったのは、人ではなく主であると知り、主はそのような御方であると改めて確認するのだ。ヨハネは「余りある必要を満たされる」というイエス様のご性質を思い出し、「あれは主だ」と叫んだ。前の仕事・前の状態に戻ろうと言った張本人のペテロは、主であると聞き、衣で裸を覆い海にとびこんだ。私達も、ペテロのように、イエス様だと気づいたなら、イエス様に敬意を表し、すぐ飛び込んで戻るべきだ。

私達は、イエス様を信じて以降、彼の素晴らしさ、御言葉の甘さを味わっていながら、伝えていなかったり、恐れて戸を開ざして閉じこもっていたり、前の状態に戻ろうとしたりしていないだろうか。ぬくぬくと現状の心地よさに留まっていけないだろうか。もしそうだとするなら、もはやそこを離れて働きに出られるよう、聖霊充滿を求めべきだ。キリストの復活と新しいいのちに生き、永遠の働きをして行く皆さんでありますように！

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://www.youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

#### 日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝  
食事/フェローシップ 12:00～  
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

#### 日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～  
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～  
火～木 夜の祈祷会 19:30～

#### 水曜集会

1部 13:00～  
2部 19:30～

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



YouTube